

第7回アフリカ開発会議（TICAD 7）高級実務者会合（SOM）の概要

令和元年6月12日

1 日程及び出席者

6月10日（月）から11日（火）まで、エチオピアのアディスアベバにおいて、第7回アフリカ開発会議（TICAD 7）高級実務者会合（SOM）が開催された。本会合は、牛尾滋外務省アフリカ部長を代表とする日本政府、他の共催者である国連アフリカ担当事務総長特別顧問室（UNOSAA）、国連開発計画（UNDP）、世界銀行、及び本年のアフリカ連合（AU）議長であるエジプトが共同議長として、AU本部において開催された。アフリカ諸国、開発パートナー諸国及びアジア諸国、国際機関、地域機関、市民社会の代表等からの参加者を含む計約300人が参加した。

2 議論の内容

本会合では、TICAD 共催者側から現在の TICAD7 に向けた準備状況を説明するとともに、現在のアフリカの抱える様々な課題と個別分野に関し、アフリカ諸国の参加者をはじめ国際社会の様々なアクターと議論を深めた。

（1）会合1日目（6月10日）

（ア）オープニングセッション

各共催者及びエジプトから開会発言を行った。また、牛尾アフリカ部長から TICAD 7 において目指すべき成果及び TICAD 7 のプログラムについて説明し、参加者と議論を行った。

（イ）主要テーマ毎のセッション

TICAD 7 の主要テーマである①民間投資の促進とイノベーションを通じた経済構造転換とビジネス環境・制度改善、②強靱かつ持続可能な社会の推進、③平和と安定について、各共催者の議長の下、活発な議論が行われた。

（2）会合2日目（6月11日）

（ア）市民社会との対話

市民社会側から TICAD 7 への提言が提示され、参加者と議論を深めた。

（イ）TICAD 7 に向けた今後の準備作業

8月28日から30日に開催される TICAD 7 に向けた今後の準備作業につき、参加者間で議論を行った。

3 今後の予定

今後、今回の準備会合の結果を踏まえて、TICAD 7 へ向けた準備作業が進められる。

（了）